

令和4年6月28日
部長会議資料

長野市立地適正化計画の改定（案）に対する 市民意見募集（パブリックコメント）の結果 及び計画（案）について

令和4年6月28日（火）
都市整備部 都市計画課

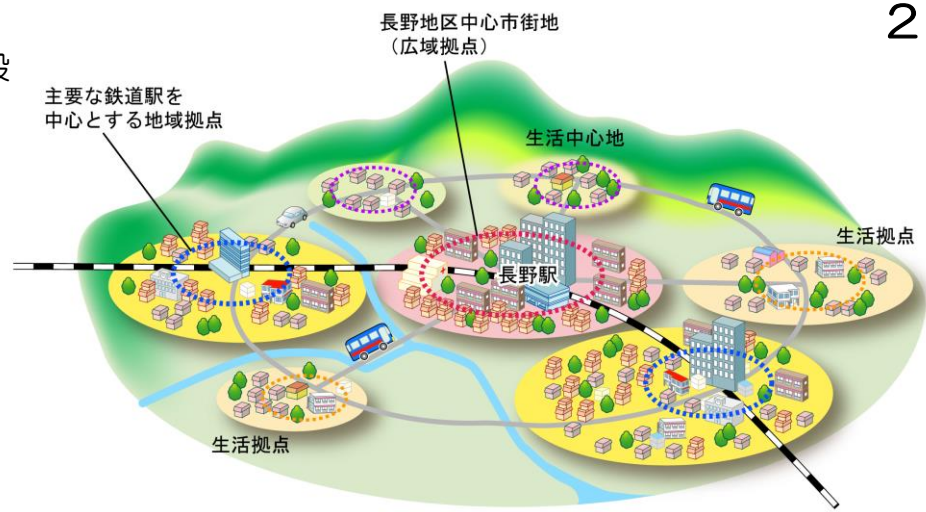
1. 立地適正化計画の目的

H26.5の法改正により創設
(都市再生特別措置法)

立地適正計画は、人口減少・高齢化社会においても、持続可能な都市経営を実現するための取り組みを定めたもので、都市計画マスタープランのアクションプランとして位置付けている。

- ◎人口密度の確保
- ◎都市機能の誘導・集積
- ◎公共交通の強化

= 集約型都市構造



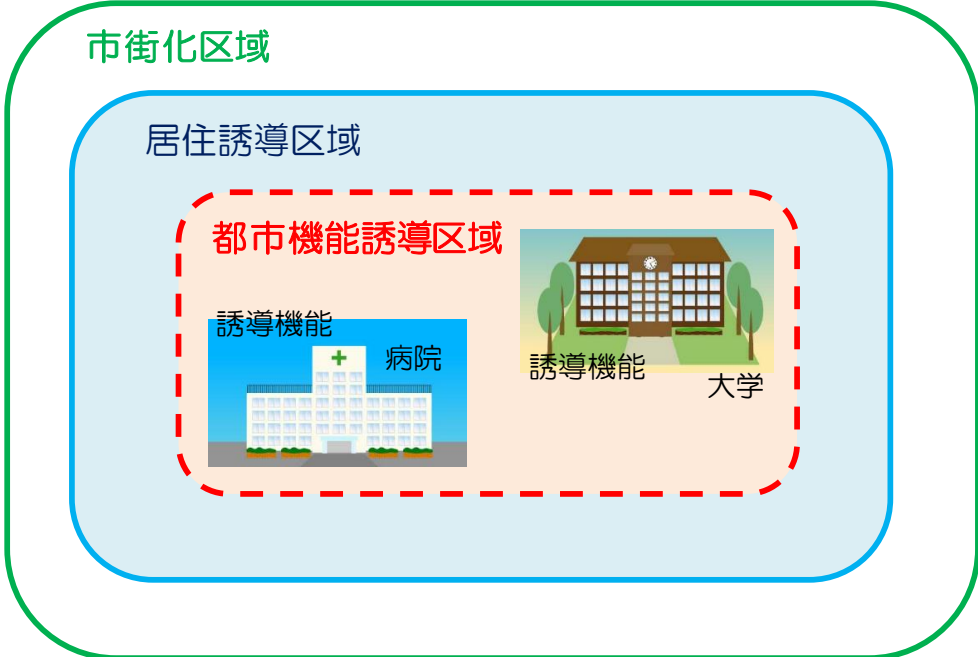
長野市が目指す都市構造のイメージ図

2. 立地適正化計画で定めるもの

- 居住誘導区域 = 市街化区域内に設定
- 都市機能誘導区域 = 居住誘導区域内に設定



これらの区域を設定することで、一定規模の行為をする事業者へ届出を義務付け、**届出と勧告**による緩やかなコントロール手法と経済的支援を組み合わせ、居住や都市機能を一定の区域に誘導する。



立地適正化計画で定める区域のイメージ図

3. 立地適正化計画の改定(案) について

○ 改定の背景

社会情勢の変化に適時対応するため、概ね5年ごとに行う**定期見直し**に加え、近年頻発化・激甚化する自然災害対応として、災害に強いまちづくりと併せて都市のコンパクト化を進めるための「**防災指針**」の作成が必要となった。（都市再生特別措置法の改定 R2.9月）

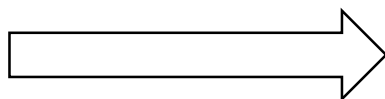
○ 改定作業

長野市都市計画審議会に長野市立地適正化計画改定検討部会を設置し、改定（案）を策定。
（委員構成：有識者5名、関係諸団体3名）

○ 改定内容

(1) 5年ごとの定期見直し

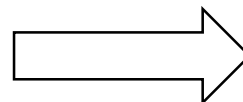
- ・誘導施策の進捗状況の調査
- ・評価指標、成果指標の実績



誘導施策・指標の見直し

(2) 防災指針の作成

- ・災害リスク分析（災害情報の収集、整理）
- ・課題の整理、取組方針の検討
- ・具体的な取組内容、スケジュール、目標値の検討



- ・リスク提示
- ・居住の誘導
- ・ハザード対策

4. 評価・成果指標の改定（案）

■評価指標（アウトプット指標）（案）

赤字：追加

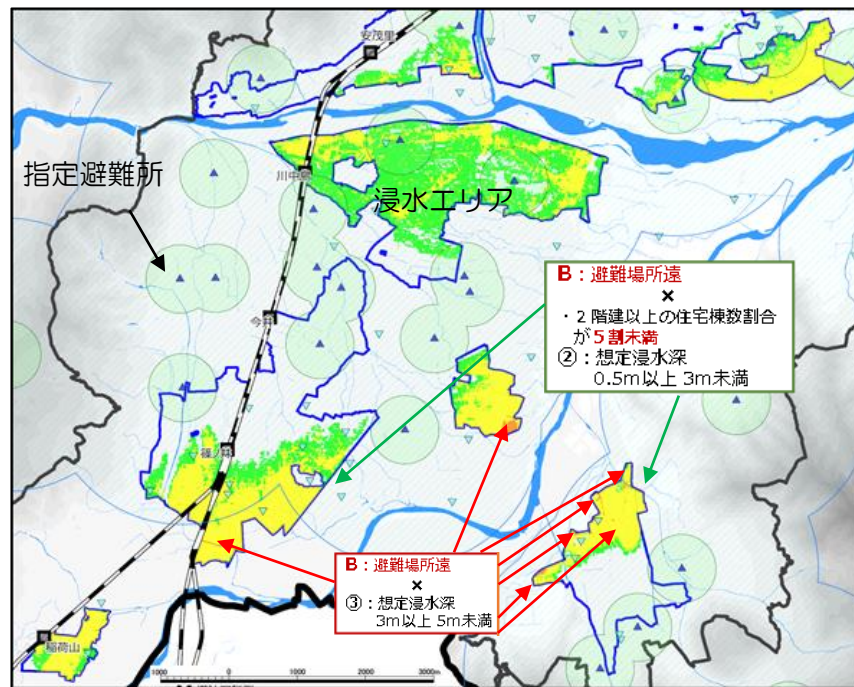
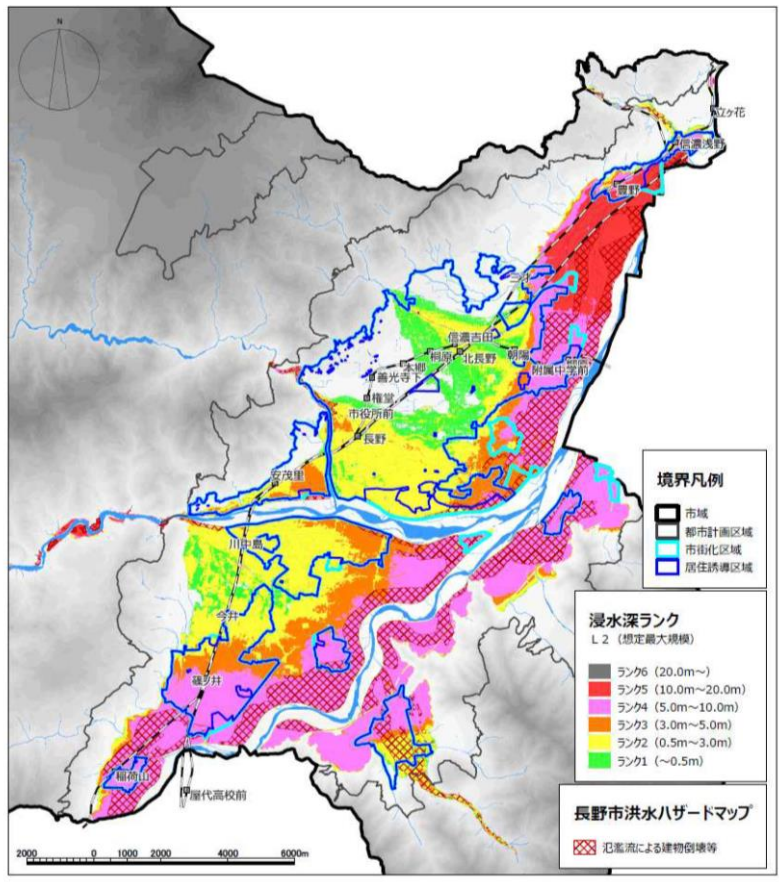
	指標（案）	備考
①居住誘導区域に関する 数値目標（案）	居住誘導区域内の人口密度	現行計画で採用
	居住誘導区域内の人口割合	
②都市機能誘導に関する 数値目標（案）	都市機能誘導区域内に立地する誘導施設の割合	
③防災対策に関する 数値目標（案）	地域防災マップ作成率	第五次長野市総合計画 の統計指標
	防災訓練実施率	
④公共交通に関する 数値目標（案）	市民1人あたりの公共交通の（年間）利用回数	現行計画で採用
	移動手段が確保された地区の人口割合	

■成果指標（アウトカム指標）（案）

	指標（案）	備考
①暮らしやすさ（利便性） に対する市民の意識を評価	日常生活の利便性に対する市民の評価（アンケート）	現行計画で採用
②災害への安全性に対する 市民の意識を評価	災害時の被害抑制対策に対する市民の評価（アンケート）	第五次長野市総合計画 のアンケート指標
③交通の利便性に対する 市民の意識を評価	公共交通の利便性に対する市民の評価（アンケート）	現行計画で採用

5. 防災指針の作成

災害リスクの提示



徒歩で指定避難所へのしやすさを客観的に示す

防災減災対策と具体的な取組内容 (地域ごと)

	エリア特性 1 (避難場所からの距離)	防災・減災に対する主な対策	具体的な内容
A	洪水時に避難可能な指定緊急避難場所 ※まで徒歩圏内	リスク回避の対策 (事前対策) 情報の周知に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> リアルタイムの情報提供などによる防災情報の充実 (SNSやアプリなど) 洪水ハザードマップの作成配布 浸水想定区域図 (内水) の作成
		避難に関する対策 避難確保計画に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> 要配慮者利用施設の避難計画作成支援 マイタイムラインの作成支援
B	洪水時に避難可能な指定緊急避難場所 ※から離れている/ 洪水時に避難可能な指定緊急避難場所 ※の徒歩避難可能範囲 (2km圏) 外	リスク回避の対策 (事前対策) 情報の周知に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> リアルタイムの情報提供などによる防災情報の充実 (SNSやアプリなど) 洪水ハザードマップの作成配布 浸水想定区域図 (内水) の作成
		避難に関する対策 避難確保計画に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> 要配慮者利用施設の避難計画作成支援 民間施設等を利用した緊急的な避難場所の確保 マイタイムラインの作成支援

公表されている浸水想定区域図を統合 (L2規模: 千曲、犀川、裾花、浅川、蛭川、鳥居川)

6. 意見募集（パブリックコメント）の概要

【募集期間】

令和3年12月1日(水) から 12月27日(月) まで

【閲覧場所等】

長野市役所（都市計画課、行政資料コーナー、各支所窓口）
長野市ホームページ

【募集方法】

書面（持参、郵送、FAX）、電子メール及びながの電子申請

【実施結果】

●意見提出者 2名 ●意見等件数 6件

7. 意見募集（パブリックコメント）の結果と対応

番号	案の該当箇所		意見・提案等の概要	対応の概要
	頁	項目		
1	19	立地適正化計画の位置付け	主な関連計画に「長野市地域防災計画」、「長野市水防計画」を入れるべき。	当該箇所へ追記します。
2	81	(3)都市機能誘導区域へ立地を見込む公共施設	立地を見込む公共施設として記載されている長野県立美術館は既にオープンしているが。	表現方法を修正します。
3	85	既存ネットワークを利用しやすくするための利便性向上	公共車両優先システム（PTPS）導入の例として、多連結バスが描いてあるが、導入を進めるのか。	公共車両優先システムのイメージ図ではありますが、表現方法を修正します。
4	49	各拠点の都市機能誘導区域に必要な（誘導又は維持すべき）機能の考え方	広域拠点は長野駅周辺の「長野広域拠点」しかないのに、単なるポンチ絵しか描いていない。具体的に描いべきではないか。	都市機能の集積をイメージしたイラストのため修正しない
5	80	中心市街地の機能集積の維持・強化	長野中心市街地の整備事業の例として、後町ホールが紹介されているが、主に体育館設備だけで公民館的要素がないため、集会にも使えるように再整備をすべき。	後町ホールは、地元の皆様の要望を踏まえながら整備された施設となっており、用途は多目的ホールであるため、再整備は考えておりません。
6	6 (概要版)	都市機能誘導区域へ誘導する施設	長野地区と篠ノ井地区に医療機能（基幹、地域）災害拠点病院を新たに追加することを提案する。 将来医療施設の移転などの計画が示された場合、周辺の公共施設など支援制度等の活用が可能となるため、事業効果が期待できると考えます。	災害時には医療の拠点となる基幹災害拠点病院である長野赤十字病院や地域災害拠点病院である篠ノ井総合病院は、バランス良く配置されており、これらの病院施設の新設や移転等にあわせて周辺の公共施設や公共交通の再編など、事業効果が高いため、都市機能誘導施設としての追加を検討します。

8. 立地適正化計画の計画素案について

パブリックコメント実施後の検討部会において、誘導区域や誘導施設の見直し検討を実施した結果、評価指標と防災指針の内容は変更せず、「**誘導都市機能**」について見直しを実施し、計画素案として取りまとめた。

改定案

評価指標

- ・ 防災の指標を追加
- ・ 既存指標を補足する指標を追加

防災指針

- ・ 災害リスク提示
- ・ 課題抽出
- ・ 具体的な取組内容

誘導都市機能

- ・ 現行計画とおり

- ・ パブリックコメント
- ・ 関係機関調整
- ・ 検討部会

計画素案

評価指標

- ・ 改定案に変更なし

防災指針

- ・ 改定案に変更なし

誘導都市機能

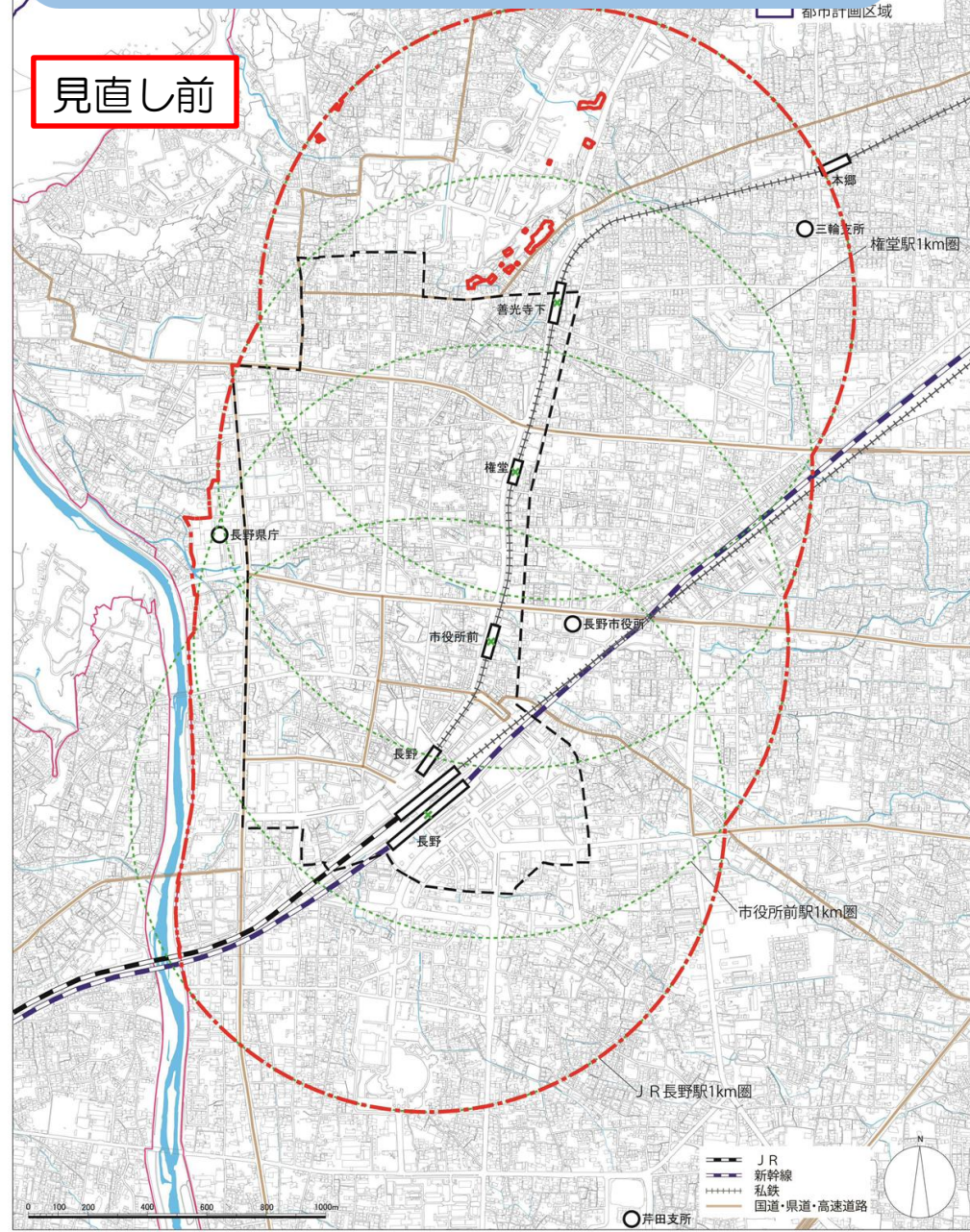
- **都市機能誘導区域を変更**
 - ・ 区域の明確化など
- **都市機能誘導施設を追加**
 - ・ 医療機能
(基幹災害拠点病院) : 長野地区
 - ・ 文化・教育機能
(運動公園) : 北長野地区

9. 都市機能誘導区域図（長野地区）

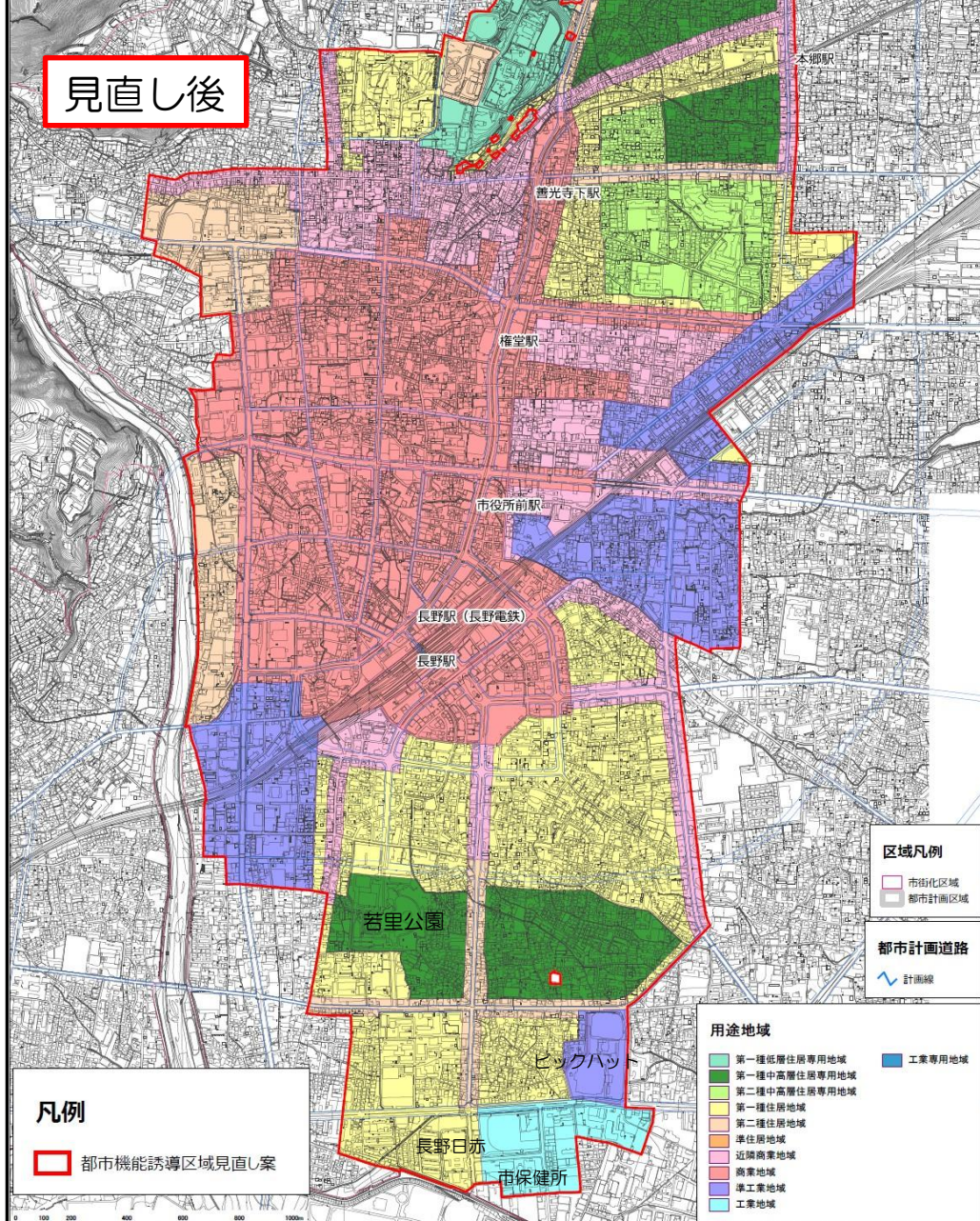
区域
市街地

都市計画区域

見直し前



見直し後



凡例

都市機能誘導区域見直し案

区域凡例
市街化区域
都市計画区域

都市計画道路
計画線

用途地域

- 第一種低層住居専用地域
- 第一種中高層住居専用地域
- 第二種中高層住居専用地域
- 第一種住居地域
- 第二種住居地域
- 準住居地域
- 近隣商業地域
- 商業地域
- 準工業地域
- 工業地域
- 工業専用地域

9. 都市機能誘導区域図（篠ノ井地区）

見直し前

篠ノ井駅1km圏

篠ノ井

篠ノ井支所

-  JR
-  新幹線
-  私鉄
-  国道・県道・高速道路






見直し後

篠ノ井駅

篠ノ井支所

篠ノ井総合病院

- 用途地域
-  第一種低層住居専用地域
 -  第一種中高層住居専用地域
 -  第二種中高層住居専用地域
 -  第一種住居地域
 -  第二種住居地域
 -  準住居地域
 -  近隣商業地域
 -  商業地域
 -  準工業地域
 -  工業地域
 -  工業専用地域

- 区域凡例
-  市街化区域
 -  都市計画区域
- 都市計画道路
-  計画線

- 凡例
-  都市機能誘導区域見直し案



9. 都市機能誘導区域図（松代地区）

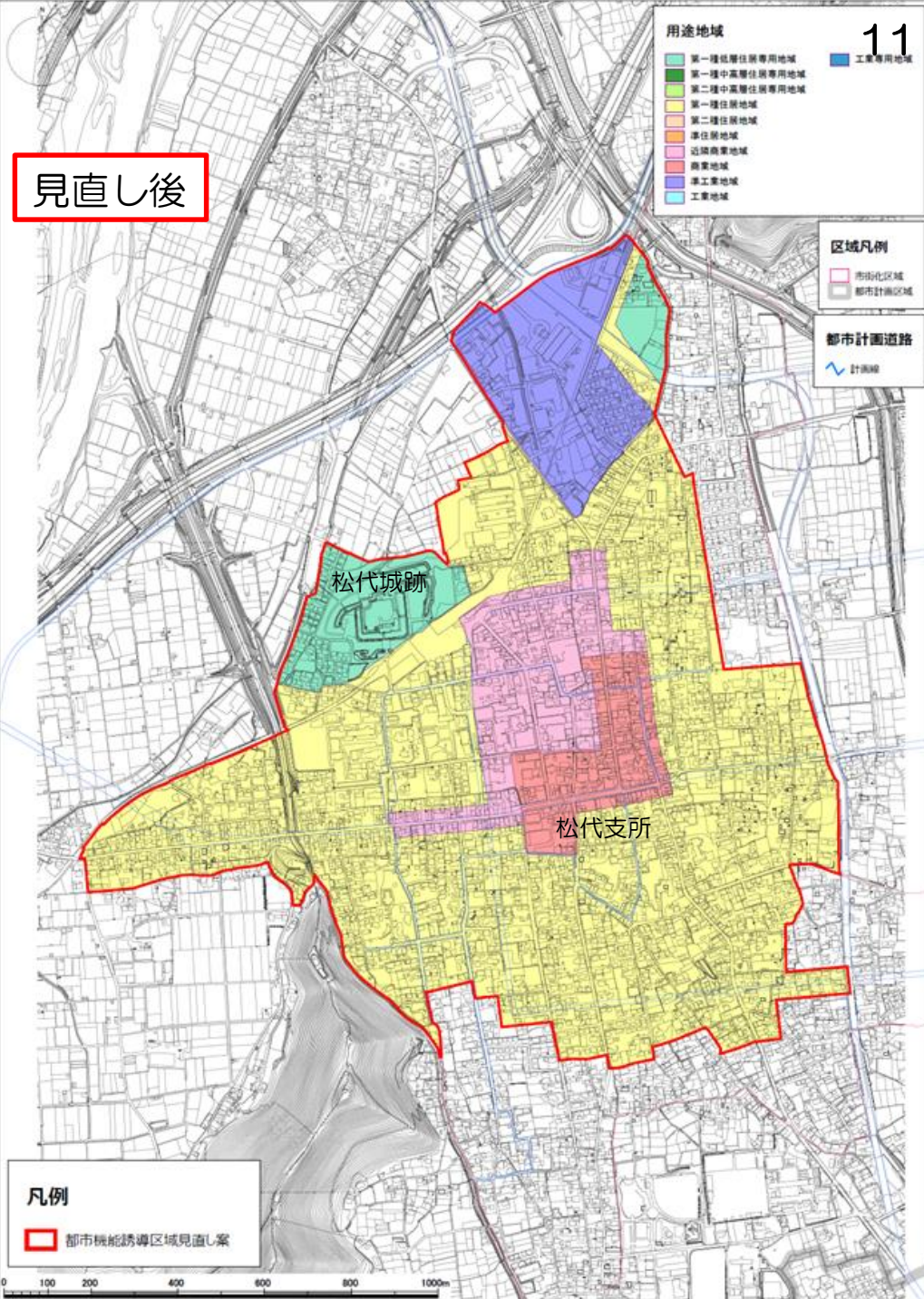
道路

(旧松代駅) 1km圏

見直し前



見直し後



9. 都市機能誘導区域図（北長野地区）

見直し前

巾着化区域

信濃吉田
吉田支所

桐原

北長野

北長野駅1km圏

- 新幹線
- 私鉄
- 国道・県道・高速道路



0 100 200 400 600 800 1000m

見直し後

- 用途地域
- 第一種低層住居専用地域
 - 第一種中高層住居専用地域
 - 第二種中高層住居専用地域
 - 第一種住居地域
 - 第二種住居地域
 - 準住居地域
 - 近隣商業地域
 - 商業地域
 - 準工業地域
 - 工業地域

- 区域凡例
- 巾着化区域
 - 都市計画区域
- 都市計画道路
- 計画線

信濃吉田駅

北長野駅

長野運動公園

凡例

- 都市機能誘導区域見直し案

0 100 200 400 600 800 1000m

10. 都市機能誘導施設の追加

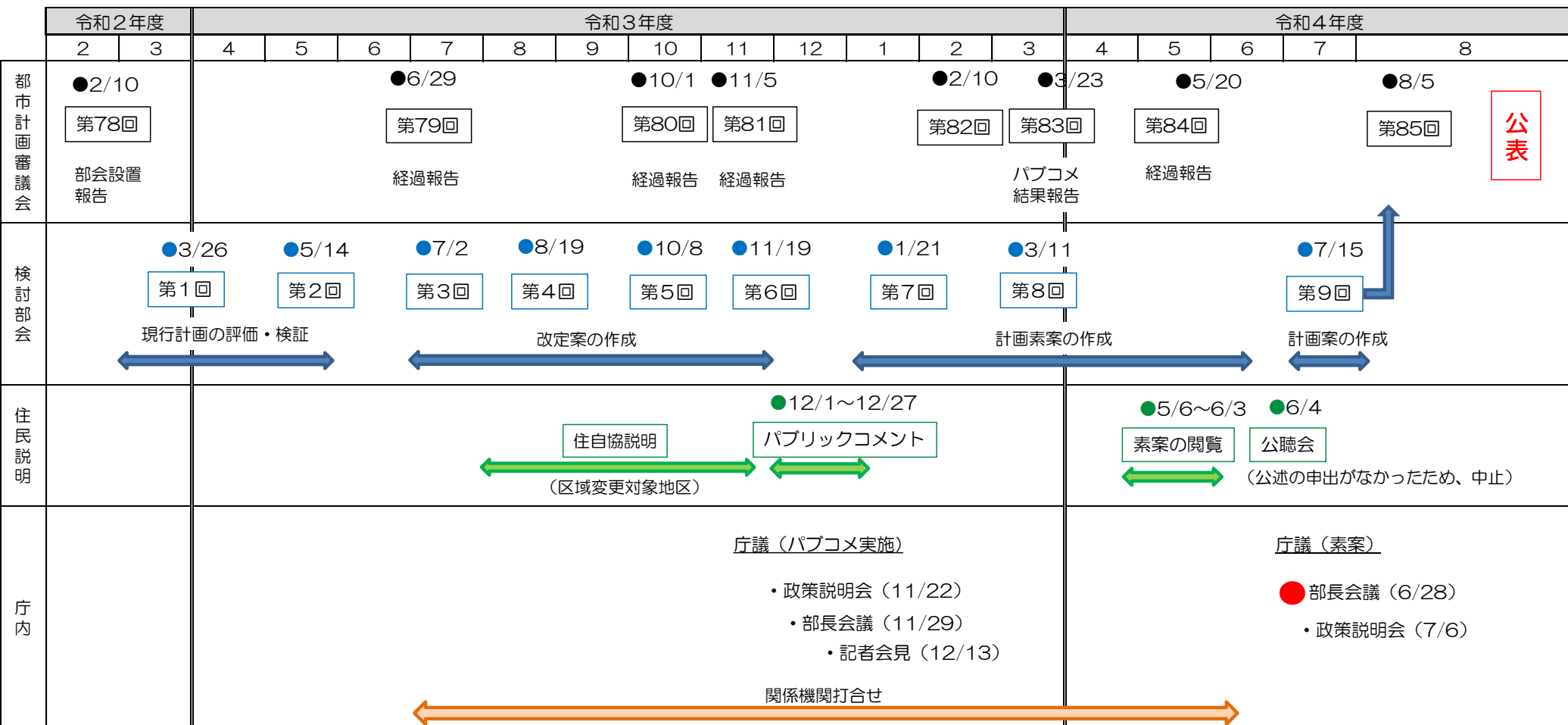
赤字追加

本市全体のまちづくりの視点から求められる機能や、整備の緊急性や実現性などから整備が見込まれる施設として、以下の都市機能（施設）を追加。

追加した都市機能は、災害時には広域の拠点として位置づけられている。

- 長野地区
教育機能《大学（サテライトキャンパス含む）・専門学校等の教育施設》
子育て支援機能《長時間・一時預かり施設等》
文化機能《美術館等・市民交流施設》
医療機能《基幹災害拠点病院》
- 篠ノ井地区
教育機能《大学（サテライトキャンパス含む）・専門学校等の教育施設》
子育て支援機能《長時間・一時預かり施設等》
文化機能《図書館》、福祉機能《老人福祉センター》
- 松代地区
教育機能《大学（サテライトキャンパス含む）・専門学校等の教育施設》
子育て支援機能《長時間・一時預かり施設等》
文化機能《博物館》
- 北長野地区
教育機能《大学（サテライトキャンパス含む）・専門学校等の教育施設》
子育て支援機能《長時間・一時預かり施設等》
教育・文化機能《運動公園》

11. 見直し作業のスケジュール



・関係機関、庁議、政策説明にて説明後、検討部会にて最終確認したのち、8月に予定している都市計画審議会を経て、公表予定。